

公益財団法人 朝鮮奨学会
2016年度 高校奨学生募集要項

1. 応募資格 次の事項に該当する者。
①日本の各高等学校（高等専門学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校を含む）に在学している韓国人・朝鮮人学生（特別永住者証明書・在留カード〈または外国人登録証明書〉の国籍表示が韓国もしくは朝鮮）。
②成績優良（原則として前学年度の評定平均値3.0以上）であり、学費の支弁が困難な者。
③他の同胞奨学機関から奨学金を受けていない者。
④2016年4月1日現在、満25歳未満の者（継続応募者は除く）。
2. 募集人数 未定（2015年度採用実績 771名）
3. 募集期間 2016年4月1日（金）～5月10日（火）
4. 奨学金金額 奨学金金額 月額10,000円
と給付期間 給付期間は1年間（2016年4月～2017年3月まで）である。
継続受給を希望する者は、新学年度ごとに再応募し審査を受けなければならない。
5. 応募書類 ①願書（3ページ） 1通（本会所定様式：写真貼付：タテ4.5cm×ヨコ3.5cm）
②学業成績証明書 1通（親展にすること）
③学校長推薦書 1通（本会所定様式：親展にすること）
④在学証明書 1通（2016年4月1日以降発行のもの）
⑤特別永住者証明書・在留カード（または外国人登録証明書）表裏のコピー 1通
（本会所定用紙に貼付。応募者本人の国籍が表示されている「住民票」も可 ※コピー不可）
⑥返信用封筒 1通（長形3号：92円切手貼付）
6. 応募方法 期間内に応募書類を一括して本会本部または関西支部に提出すること。
郵送の場合は特定記録で期間内必着（ただし締切日の速達消印は有効とする）。
7. 選考と決定 本会の選考基準に従って書類審査を行う。6月中旬までに選考結果を本人および学校宛に通知する。
8. その他 本会の奨学金は給付制であり、返還の義務はない。ただし本会所定の諸行事に必ず出席すること（行事開催地より遠方の者については考慮する）。

■願書請求方法 願書など所定の用紙は本部・関西支部で配布する。
また、本会ホームページ <http://www.korean-s-f.or.jp> からダウンロードできる。
郵送希望の場合は、92円切手を貼り住所・姓名を明記した返信用封筒（長形3号）を別の封筒に入れて「高校生用願書希望」と書き、本会に郵送すること。

※応募書類によって得た個人情報、選考および応募者本人との連絡以外の目的には使用しません。ただし奨学金の重複受給を確認する目的に限り、他の奨学団体に姓名・生年月日等を開示することがあります。
※応募書類は返却しません。また、選考結果（採用および不採用）についての問い合わせには一切応じられませんので、ご了承ください。

本 部	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-8-1 新宿ビル9階 電 話 03 (3343) 5757 FAX 03 (3344) 3947
関西支部	〒536-0007 大阪市城東区成育 5-22-10 電 話 06 (4255) 3618 FAX 06 (4255) 3617

公益財団法人 朝鮮奨学会について

○本会の歩み

朝鮮奨学会は日本で勉強している韓国人・朝鮮人学生を支援するための奨学育英機関で、110余年の歴史があります。1943年、日本政府から公益事業をする「財団法人 朝鮮奨学会」としての認可を得ました。

歴史の流れとともに幾多の変遷がありましたが、1957年に所属団体や思想、信条の違いなどを超越し、在日同胞が一致団結して理事会を再建しました。その後、日本の学識経験者とともに理事会・評議員会を構成して今日まで同胞学生のための育英事業を推進しています。

本会は現在、東京の新宿（本館）、代々木（別館）と大阪（関西奨学会館）にビルを所有し、これらの財産から得られる収益で、日本の高校・大学・大学院で学ぶ同胞学生に奨学金を給付するなどの事業を行っています。本会は日本政府からも本国の南・北の政府からも財政的援助を受けず、自主財源のもとに運営されています。

2012年7月31日、新公益法人制度のもと公益認定を取得し、同8月1日、「公益財団法人朝鮮奨学会」に移行しました。

○主な事業

奨学事業

成績優良でありながら、学費の支弁が困難な在日同胞学生と留学生に奨学金を給付しています。大学・大学院奨学生は、1961年からの本格的な奨学金給付事業の再開以降で延べ約3万名、高校・高専の奨学生は1966年以降で延べ4万7千名になり、その奨学事業費の総額は約142億円に達します。

文化教養事業

奨学生を対象にサマーキャンプ、^{우리}高校奨学生文化祭、交流会等を開き、民族の自覚を育むとともに奨学生どうしの親睦をはかっています。
年1回、会報誌「セフルム」を発刊しています。

※詳しくは本会のホームページを参照下さい。

公益財団法人朝鮮奨学会定款

第2章 目的及び事業

（目的）

第3条 この法人は、日本の諸学校に在学する韓国人・朝鮮人学生等の奨学援護を行うとともに、学術奨励と研究助成を行い、もって有為な人材育成と国際交流に寄与することを目的とする。

（事業）

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 奨学金給付
- (2) 学生支援及び学術研究奨励
- (3) 会館の運営
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

奨学金給与規程

第1章 総則

※公益財団法人移行に伴い、新しい定款に基づく「奨学金給与規程」を現在策定中です。

財団法人朝鮮奨学会寄附行為第4条に基づきこの規程を定める。

（奨学生の資格）

第1条 本会の奨学生となるものは、韓国人・朝鮮人であって、学校教育法第1条に規定する高等学校、大学（大学院を含む）に在学し、学業、人物ともに優秀で、かつ健康であって、学資の支弁が困難と認められるものでなければならない。

조 선 장 학 회

公益財団法人 朝鮮奨学会

The Korean Scholarship Foundation

<http://www.korean-s-f.or.jp>

事務処理欄（記入不要）

受付日 月 日	受付No.	応募者ID	奨学生No.
------------	-------	-------	--------

2016 年度

公益財団法人 朝鮮奨学会
高 校 奨 学 生 願 書

姓 名	(漢字)		(ハングル)	
	(通称名)		性別	男 ・ 女
生年月日	西暦	年 月 日	年齢	満 歳
学 校 名	都道府県	(ﾌｶﾞﾅ)ｶﾞｯｺｳ		
		立 学校		
課 程	全日制・定時制・通信制・高専		3 ・ 4 ・ 5 年 制	
科	科 (コース)		学年	年

継 続

写 真

タテ 4.5cm×ヨコ 3.5cm

正面脱帽、スナップ写真不可
6カ月以内に撮影したもの

写真裏面に姓名・
学校名・学年を記入

国 籍	韓 国 朝 鮮	出生地	
在留資格	特別永住者 永住者 定住者 家族滞在 留学 その他 ()	渡日年月	年 月 (滞在 年目)

現 住 所	〒 建物名など				
電話番号	自宅： — —	本 人 携 帯：	— —	保 護 者 携 帯：	— —
通学状況	①自宅通学 ②自宅外通学 寮・アパート・親類宅・その他 ()				
過去、本会奨学金受給の有無（本人） ※本会の奨学金を受給した年に○印	有・無	2015 年度 (奨学生No.)	2014 年度	2013 年度	2012 年度

保 証 人	姓 名 (自 署)	年 齢	歳	応募者 との関係	
	現 住 所	〒 TEL ()		職 業	

事務処理欄（記入不要）

願 1 ・ 願 2 ・ 願 3 ・ 推 ・ 成 ・ 在 ・ 外 ・ 封	備考
-------------------------------------	----

姓名：

応募者本人の学歴

年	月	立	小学校 卒業 (所在地:)
年	月	立	中学校 卒業 (所在地:)
年	月	立	高校 入学 (所在地:)
年	月	立	
年	月	立	

家族および収入（応募者本人は除く）

※1 主たる 家計支持者	続柄	姓 名	年 齢	職業等／会社名(役職)等 ※2 生活保護等の福祉制度の適用等	年間収入(所得)	同居 別居
☐	父			()	円	同・別
☐	母			()	円	同・別
☐				()	円	同・別
☐				()	円	同・別
☐				()	円	同・別
本人を除く就学者	続柄	姓 名	年 齢	学 校 名 等	※3 本会奨学金 応募の有無	同居 別居
				学校名	年 ☐	同・別
				学校名	年 ☐	同・別
				学校名	年 ☐	同・別
				学校名	年 ☐	同・別

※1 主たる家計支持者に☑チェックすること

※2 生活保護等の福祉制度の適用を受けている場合は、その名称を記入すること。

※3 兄弟姉妹で今年度本会奨学金に応募している場合は必ず☑チェックすること。

主たる家計支持者について

給与 所得者	会社名等		業種
	職 責		年間収入 円
	雇用形態	正規・その他 ()	
自営業者等	会社名等		業種
	従業者数	家族 (人) 従業員 (人)	年間所得 円

業種の一覧 ①建設・土木建築 ②不動産 ③情報通信 ④電気・機械・製造 ⑤印刷・出版・広告 ⑥運輸
⑦卸売・小売 ⑧金融・保険 ⑨旅行・ホテル・レジャー・サービス業 ⑩飲食業 ⑪学術研究・専門技
術サービス業 ⑫医療・福祉 ⑬教育学習支援・公務員等 ⑭その他（具体的に）

※「年間収入（所得）」：2015年1月～12月までの収入を記入してください。

給与所得者は収入（総支給額から交通費を差し引いた額）、自営業者（給与所得者以外）は所得（収入から必要経費を差し引いた額）を記入すること。源泉徴収票・確定申告書・納税証明書等を参照に記入すること。

※年金受給者はその年額を記入すること。

奨学金応募理由

[illegible]

母国語理解度（複数選択可）		部活・クラブ	技能・資格	趣味・特技
1. 会話が 2. 読み書きが 3. 簡単なあいさつ、単語を知っている 4. 理解できない				
卒業後の 進路志望	1. 進 学： 志望大学および学部名（ ） 専門学校・その他（ ） 2. 就 職： 希望する職種など（ ）			

2016年 月 日

公益財団法人 朝鮮奨学会 宛

学 校 名

所 在 地

校 長 名

印

記入責任者

職責・姓名

印

推 薦 書

本校は、下記の者を貴会の高校奨学生としてふさわしいと認め、推薦します。

姓 名		高 校 名		科	学年
(通称名)		学校		科	年
		全日制・定時制・通信制・高専		(コース)	
生年月日	年 月 日	性別		男 ・ 女	
前学年度 評定平均値	点(5段階評価)		欠席日数 *前学年度分	日 (主な理由：)	
推 薦 所 見	1. 学業(成績、理解力、学習態度など)				
	2. 人物(責任感、協調性、行動力、思考力など)				
	3. 家計(家庭の経済状態など)				
	4. 課外活動(部活動など)				
	5. その他(健康状態など)				

※親展にしてください。

特別永住者証明書・在留カード(外国人登録証明書)のコピー貼付用紙

※住民票は貼付けないで、その他の書類と一緒に同封してください。

外国人登録証明書(手帳式)のコピー**【おもて面】**

特別永住者証明書・在留カード
(外国人登録証明書)のコピー

【おもて面】

— 4 —

— 1 —

外国人登録証明書(手帳式)のコピー**【うら面】**

特別永住者証明書・在留カード
(外国人登録証明書)のコピー

【うら面】

※何も記載がなくても貼付してください。

— 2 —

— 3 —

応募書類を提出・郵送する前に必ず確認してください

書 類 の 確 認	チェック欄
①-1 願書 1～3 ページ 揃っていますか？(記入漏れはありませんか？)	☐
①-2 願書 1 ページに 写真を貼りましたか？	☐
②学業成績証明書(通知表ではありません)はありますか？	☐
③学校長推薦書はありますか？	☐
④在学証明書はありますか？	☐
⑤特別永住者証明書・在留カード(外国人登録証明書)または住民票はありますか？	☐
⑥返信用封筒(長形 3 号)はありますか？	☐

※⑥の返信用封筒(長形 3 号)のつくり方

返信用封筒ラベル

見本

92 円切手→

返信用ラベルを貼って下さい。→

必ず応募者本人の住所・姓名を記入して下さい。
右の返信用ラベルを切り取って使用して下さい。



住所	〒 —
姓名	貴下 (通称名) _____

応募書類の郵送用ラベル

関西地域(大阪・兵庫・京都・奈良・和歌山・滋賀)の高校に在学している人は関西支部に、それ以外の地域は本部に提出してください。

本部宛

関西支部宛

〒160-0023
東京都新宿区西新宿1-8-1
新宿ビル9階

公益財団法人 朝鮮奨学会 指導部 宛

2016 年度高校奨学生応募書類在中

〒536-0007
大阪市城東区成育5-22-10

公益財団法人 朝鮮奨学会 関西支部 宛

2016 年度高校奨学生応募書類在中

2016年度 公益財団法人 朝鮮奨学会
高校奨学金 応募の手引き

1 募集期間

2016年4月1日(金)～5月10日(火) ※期間内必着(ただし締切日の速達消印は有効とする)

2 応募書類作成上の注意

①願書(3ページ) 1通 本会所定様式を用いてください。

1ページ	
1) 姓名	(漢字) 特別永住者証明書・在留カード(または外国人登録証明書)の本人を記入すること。 (ハングル) 本名のハングルを記入すること(ハングルがわからない場合は空欄のままでよい)。 (通称名) 通称名(日本名)で通学している場合のみ記入すること。本名で通学している場合は記入しないこと。
2) 写真	1枚 上半身 タテ4.5cm×ヨコ3.5cm(正面脱帽、スナップ写真不可・6カ月以内に撮影したもの)
3) 生年月日	西暦で記入すること。(例:2000年7月10日)
4) 国籍	特別永住者証明書・在留カード(または外国人登録証明書)に記載されている国籍を○で囲むこと。
5) 出生地	生まれた場所 (例:東京都、ソウル 等)
6) 在留資格	特別永住者証明書・在留カード(または外国人登録証明書)に記載されている在留資格。該当するものを○で囲むこと。
7) 渡日年月	日本以外の国で出生した人は必ず記入すること。
8) 現住所	正確に記入すること(アパート・マンション名なども)。
9) 電話番号	(自宅) 市外局番から記入すること。 (携帯) 持っていない場合は空欄のままでよい。
10) 通学状況	自宅外生は必ず該当するものを○で囲むこと。
11) 本会奨学金受給の有無	応募者本人が奨学金を受給した年度を○で囲むこと。
12) 保証人	応募者の在学中の身元を保証する人(両親、親族等)。 姓名欄は保証人が自署すること。
2ページ	
13) 学歴	小学校、中学校の卒業年月、高校入学年月を記入すること。 所在地も必ず記入すること。(例:東京都新宿区、ソウル市等)
14) 家族および収入	応募者の家族を記入する。 ※1 主たる家計支持者に☑チェックすること。 ※2 生活保護等の福祉制度の適用を受けている場合は、その名称を記入すること。 ※3 兄弟姉妹で今年度本会奨学金(大学・大学院奨学金含む)に応募している場合は必ず☑チェックすること。 ・年齢は4月1日現在の年齢を記入すること。 ・職業等/会社名(役職)等は、職業や勤務する会社名と役職を記入すること。 本人を除く就学者は、学校名(予備校・幼稚園・保育園等も含む)、学年などを正確に記入すること。
15) 主たる家計支持者について	※「年間収入(所得)」欄は:2015年1月～12月までの収入を記入すること。 ・給与所得者は収入(総支給額から交通費を差し引いた額)を記入すること。 ・自営業者(給与所得者以外)は所得(収入から必要経費を差し引いた額)を記入すること。 源泉徴収票・確定申告書・納税証明書等を参照して記入すること。 ※年金受給者はその年額を記入すること。

3ページ	
16) 奨学金応募の理由	奨学金を希望するに至った事情などをできるだけ具体的に記入すること。福祉制度とは児童扶養手当(またそれに準ずる諸制度)や障害者手当、生活保護制度などを指す(保護者が記入しても構いません)。
17) 自己PR	学業状況、学校生活の目標や進路などを記入すること。必ず応募者本人が記入すること。写真などの貼付も可。
18) 母国語の理解度	ハングルの読み書き理解度。該当するものを○で囲むこと。

②学業成績証明書(1通)(親展にすること)

1年生は卒業中学校から発行された、中学3年次の学業成績証明書を提出してください。

2年生以上は前学年度の学業成績証明書を提出してください。

※成績が5段階評価でない(10段階・3段階など)場合は、5段階評価に換算したものを提出してください。

※通知表等のコピーは受理できません。

※卒業中学校で学業成績証明書の所定書式がない場合は、調査書等に相当する書式でもかまいません。

③学校長推薦書(1通)(親展にすること)

本会所定様式(2016年4月1日以降発行のもの)。

※1年生で、在籍する高校からの発行が難しい場合は、卒業中学から発行してもらってください。

※原則として、在籍する高校のクラス担任または奨学金担当の教員の方に記入してもらってください。

④在学証明書(1通)

在学している高校から発行されたもの(2016年4月1日以降発行のもの)。

※学生証(生徒手帳)のコピーは不可。

⑤特別永住者証明書・在留カード(または外国人登録証明書)のコピー(表裏)(1通)

特別永住者証明書・在留カード(または外国人登録証明書)のコピーを**本会所定の用紙に貼って提出してください**。または、応募者本人の国籍および在留資格が表示されている住民票(発行されて3カ月以内のもの ※コピー不可)の提出も可とします。

2016年5月10日現在、16歳の誕生日を迎えていない方は、外国人登録証明書(手帳式)の全ページのコピー、または応募者本人の国籍および在留資格が記載されている住民票(発行されて3カ月以内のもの ※コピー不可)。

⑥返信用封筒(1通) ※選考結果通知に使用します。

封筒のサイズは長形3号(タテ23.5cm×ヨコ12cm)。92円切手を貼ること。封筒の表には、応募者の郵便番号、住所、姓名(本名)を必ず明記すること。なお、通称名(日本名)がある場合は必ず併記してください。

別紙にある返信用ラベルを貼り付けるか参考にして作成してください。

3 応募書類の提出について

応募書類はすべて一括して提出してください。

関西地域(大阪・兵庫・京都・奈良・和歌山・滋賀)の高校に在学している人は関西支部に、それ以外の地域は本部に提出してください。

郵送の場合は特定記録で期間内必着(ただし締切日の速達消印は有効とする)で送ってください。

選考結果通知が届くまで特定記録の控えを保管してください。

提出書類の一部が期日に間に合わない場合は、必ず本部または関西支部にその旨を申し出てください。

提出先住所 **本 部** 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-8-1 新宿ビル9階
公益財団法人 朝鮮奨学会 指導部宛

関西支部 〒536-0007 大阪府大阪市城東区成育5-22-10
公益財団法人 朝鮮奨学会 関西支部宛

※お問い合わせは、朝鮮奨学会本部(03-3343-5757)または関西支部(06-4255-3618)まで。

業務時間：月～金曜日 午前8時50分～午後5時10分

休業日：土曜日、日曜日、祝日